

令和元年度事業報告

1 事業実績

令和元年度事業に対する実績は、下表のとおりです。

(請負)

項目 \ 年度	令和元年度 目標	令和元年度 実績	達成率	対前年比
会員数	700 人	663 人	94.7%	98.9%
就業率 就業実人員 / 会員	93.0%	89.2%		
就業実人員	650 人	592 人	91.0%	93.6%
受注件数	2,500 件	2,416 件	96.6%	102.5%
契約金額	240,818 千円	222,161 千円	92.2%	98.2%
就業延人員	72,000 人日	64,201 人日	89.1%	96.4%

(派遣事業)

項目 \ 年度	令和元年度 目標	令和元年度 実績	達成率	対前年比
会員数	100 人	112 人	112.0%	98.0%
就業率 就業実人員 / 会員	90.0%	83.0%		
就業実人員	100 人	93 人	93.0%	101. %
受注件数	17 件	25 件	94.2%	99.0%
契約金額	28,000 千円	35,608 千円	94.7%	98.8%
就業延人員	7,000 人日	8,502 人日	92.5%	99.0%

請負の実績については、受注件数のみが前年度を上回る結果となりましたが、その他すべての数値については、前年度の実績値を下回る結果となり目標値に達することも出来ませんでした。特に、年度末の新型コロナウイルス感染症の拡大の影響による自粛に伴い、シルバーサロン事業を初め各種イベントに関連する仕事の中止により、就業延人員の落ち込みが目立つ結果となりました。

一方派遣事業については、登録会員数、就業実人員、契約件数、就業延人員は前年度を上回る結果となりましたが、契約金額は前年度を下回る結果となりました。

次年度は、一層の会員の増強に努めるとともに、多くの会員の皆さまに就業の機会を提供することを重点に、達成できなかった項目について対策を講じ地域社会の様々な需要に応えていきたいと考えます。

2 事業実施状況

1) 就業機会の確保・提供

①普及啓発活動の充実

- ・「シルバーかかみがはら」を年2回発行し市内全世帯に配布するとともに、福祉センター等の公共施設にパンフレットと共に配置しました。
- ・ホームページを定期的に更新し、様々な情報を発信しました。
- ・市が主催する、福祉フェスティバル等の会場で来場する市民を対象に啓発活動を実施しました。
- ・年度当初に開催されたシルバーサロン事業の「桜まつり」のイベント開催時に、チラシの配布等による啓発活動を実施しました。
- ・「サロン大売出し」のチラシ配布し、多くの市民に来場して頂きました。
- ・近隣自治会に回覧して、おさらい教室の開設を案内しました。

2) 会員の増強

①広報活動の推進

会員拡大を図るため、月三回の説明会、福祉センター等公共施設や大型ショッピングセンターへのチラシの設置、イベント時に組織委員会、広報委員会の委員による広報活動、ホームページを活用してセンターを紹介しました。

②「会員による一人一会員入会」運動の促進

会員に入会募集のチラシを配布し、「会員による一人一会員入会」運動の推進を図りました。

③女性会員の拡大

女性会員向けの派遣の職域の拡大、清掃作業等のワークシェアリングの推進等による就業先の確保等、受入体制の整備に努めました。また、2か月毎に女性部会を開催し、活動等を通して、女性会員同士の情報共有及び連携強化を図りました。

3) 雇用による就業機会の提供の推進

①有料職業紹介事業

今年度は、発注者からの依頼が無く実績をあげることができませんでした。

②労働者派遣事業

公共事業は事業の縮小により成果を上げることができませんでした。民間事業は、新規契約など職域を拡大することが出来ました。次年度以降も、

適正就業ガイドラインに沿った事業展開に重点を置き、新規契約の開拓を図ります。

4) 就業に必要な知識や技能を習得するための講習会の開催

①「子育て支援事業」の講習会

就業先の保育士を講師として招き、子育て支援事業に従事するうえでの心構え及び注意事項等について学ぶことができました。

②「サロン事業」の講習会

消費税の改定に伴うレジの扱い方、またおいしいコーヒーのいれ方等全体のスキルアップにつながる勉強会を開催いたしました。

5) 安全就業の徹底と適正就業の厳守

①事故発生状況

令和元年度の事故発生件数は、傷害事故は4件（対前年比4件減）で内就業中の事故が3件、就業途上での交通事故が1件でした。

一方、賠償事故は2件（対前年と同じ）でいずれも草刈り作業での事故でした。

尚、重篤事故の発生はありませんでした。

次年度も、事故ゼロを目指し、会員の皆さまと共に更なる安全就業に向けた、諸施策・対策を講じていきたいと考えます。

②事業実施状況

ア 安全・適正就業委員会を6回開催しました。

イ 安全・適正就業パトロールを5回実施しました。特に危険な状況は見当たらず概ね良好でした。

エ 東海中央病院の協力により、脳卒中の予防をテーマに「高齢者の健康講習会」を4月に開催し、43名の方が受講されました。

ウ 各務原警察署の協力により「交通安全講習会」を12月に開催し、40名の方が受講されました。

③その他

岐阜県連合会主催の「安全就業推進大会」及び「安全就業推進研修会」に委員が出席しました。

6) 調査研究

「シルバーサロン」に訪れる幅広い年齢層の市民を対象に、シルバー人材センターへの要望等の調査及び、会員を対象に就業要望の調査をしました。

次年度も調査を実施し、就業機会の拡大に反映できるように努めます。

7) 社会参加活動の推進

① ボランティア活動への参加

各務原市の企画による「川と海のクリーン大作戦」に参加し木曾川河川敷のゴミ拾い作業を行いました。また、市内の福祉施設にて、シルバーサロンに従事する会員を中心に清掃作業を行いました。

② 各種イベントへの参加及び実施

各務原市主催の「桜まつり」に参加し、シルバーサロンの手造り作品の販売や催しにより啓発活動を実施しました。

8) 財政基盤の確立

各務原市からは引き続き手厚い支援をいただいているところですが、次年度以降、一層の効率的な事業運営により経費の節減等に努めるとともに、振込手数料等事務費の増加が確実であるなか、自主財源の確保を図ります。

令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないので作成しない。

令和元年 5 月

公益社団法人各務原市シルバー人材センター